

SKR

熊本阿蘇地方を中心とした大きな地震が発生致しました。現地当局の皆様及びパチンコ業界に従事の皆様のご心労察するに余りある状況であります。余震活動も非常に活発で、復旧活動も大きく阻害されたと聞いています。少しずつ整理されてきたとは言え、仮設住宅などインフラはまだまだ課題が多いようです。この機関紙が皆様のお手に届くころには少しでも改善していることを心よりお祈り申し上げます。

さて本題に戻ります。今回の言葉物語は「SKR」です。正式名称は「スーパー小当たりラッシュ」と呼び、大当りの一部で突入するものです(規則改正直後では「超確変」と呼ばれていたものです)。最初に市場に出回ったのは2015年11月に西陣さんから登場した「CR交響詩篇エウレカ

Ver.」で、最近では2016年3月に平和さんから「CR逆転裁判」が登場しています。

説明書では分からない

今から書くのは、ホールにあった遊技説明書の内容を文章化したものです。

○大当たり確率：約249分の1(高確率時65・6分の1)
○ST & SKR突入率：約51%(ST80回)

○ST時大当たり振り分け：2R 50%
14R 50%

○大当たり時獲得出玉：初回4R約460玉 ST & SKR時2R約36玉 14R1580玉

いかがでしょうか。私は登場当時のスペック表を見たときに「なんて辛い台なんだ」と思ってしまったところ、ここにSKRの性能を加えると一気に見た目が変わってきます。

●ST完走時獲得出玉：約1920玉

●ST連続大当たり期待度：約71%

大当たりの51%は、ST中に大当たりをしなくともSKR込みで約1900発程度の玉を獲得出来る、つまりSKRのサポートでは1400発程度獲得

できる、ということの意味します。そして14R大当たりなら、大当たり+SKRで約2900発と大きく獲得出来るということですよ。

これはST機でスルー(大当たり無し)に悩まされる私のようなユーザーにとっては中々嬉しいサポート機能と言え、他のミドル機を比較しても遜色無い素晴らしいものです。ところが、ここまでの情報をサポートしている遊技説明は、私を取り急ぎ回った数十のホールではどこもありませんでした。

特徴ある機種こそPRを

事前情報を全く入れない状態で、アイデア情報を見て打ちたいと思いき、いざホールで遊技説明書を見た瞬間に打とうとする気が失せ、その後情報をネットで詳しく調べて、実際に打ったら「これもアリだな」と感じた。では打つ瞬間で最後の背中を押すはずの遊技説明(書)の役割とは何でしょうか。私は過去何度も、このような変則スペックこそ詳しく説明すべきポイントのはずと申し上げてきておりますが、制作が流れ作業化している現状では難しいのかも知れません。しかしこの問題は世に変則スペックが認知されない一因にもなっているよ



初打ちでCR逆転裁判のST & SKR大当たり。同機での勝利はST & SKRの当選に全てかかっている。
©CAPCOM CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED. ©HEIWA

うな気がしてなりません。また、遊技機の性能上から発生する注意情報も必要以上に発信されないことから、実際にユーザーがその状況に出くわして混乱するといった事例も多く見受けられます。

情報は素早く世に知られ拡散される時代です。だからこそ初期情報を正しくユーザーが認識することで、永く市場に愛されることが重要です。金太郎飴のようなスペックばかりでなく、数々の問題を克服し、このようないぶし銀の素晴らしい機械を世に送り出してくれたメーカーに賛意を示しつつ、このような特徴ある機種こそ丁寧な周知活動を各担当業界で行わなければならないと思うのです。SKR搭載機はまだまだ改善できるはずですよ。多くの機種が市場を賑わしてくれることを期待しています。(大和田敏男)

うれしいサポート機能